

出題基準			コアカリ	
総論Ⅴ 発生、成長、発達、加齢				
大項目	中項目	小項目	項目	
	ウ 唾液分泌		C-2-4)-①	* ①人体諸器官の形態と機能の成長、発育および加齢に伴う変化を説明できる。
	エ 味覚		C-2-4)-①	* ①人体諸器官の形態と機能の成長、発育および加齢に伴う変化を説明できる。
6 加齢・老化による歯・口腔・顎・顔面の変化	ア 形態的变化		C-2-4)-①	* ①人体諸器官の形態と機能の成長、発育および加齢に伴う変化を説明できる。
	イ 機能的変化		C-2-4)-①	* ①人体諸器官の形態と機能の成長、発育および加齢に伴う変化を説明できる。

出題基準			コアカリ	
総論Ⅵ 病因、病態				
大項目	中項目	小項目	項目	
1 病因論	ア 染色体・遺伝子・発生の異常		C-1-2)-⑤	* ⑤ 遺伝性疾患の発生の機序を説明できる。
	イ 環境と疾患		C-4-1	* 細胞傷害、組織傷害および萎縮の原因と形態的所見を理解する。
2 細胞組織の障害	ア 代謝障害(変性)		C-4-1-① C-4-1-②	* ①細胞傷害と組織傷害について説明できる。 【変性を含む。】 * ②壊死の多様性、原因、意義および形態的所見の特徴を説明できる。
	イ 萎縮		C-4-1-④	* ④萎縮と仮性肥大を説明できる。
	ウ 細胞死		C-4-1-③	* ③アポトーシスと疾患の関連性について説明できる。
3 修復と再生	ア 口腔の診察・検査		C-4-2	* 修復と再生の意義とこれらの形態的所見を理解する。
	イ 肥大、過形成(増生)		C-4-1-④	* ④萎縮と仮性肥大を説明できる。
	ウ 化生		C-4-2-②	* ②化生を説明できる。
	エ 再生		C-4-2-①	* ①修復と再生について説明できる。
	オ 創傷治癒		C-4-2-① C-4-2-③	* ①修復と再生について説明できる。 * ③創傷治癒に関する細胞とその過程を説明できる。
	カ 異物処理		C-4-2-④	* ④器質化を説明できる。
4 循環障害	ア 全身の循環障害		C-4-3-⑥ C-4-3-⑦	* ⑥浮腫の原因とその転帰を説明できる。 * ⑦ショックの成因と種類を説明できる。
	イ 局所の血液分布異常		C-4-3-① C-4-3-②	* ①虚血、充血およびうっ血の徴候、原因および転帰を説明できる。 * ②出血の原因、種類および転帰を説明できる。
	ウ 閉鎖性の循環障害		C-4-3-③ C-4-3-④ C-4-3-⑤	* ③血栓の形成機構と形態学的特徴および転帰を説明できる。 * ④塞栓の成因、種類および転帰を説明できる。 * ⑤梗塞の種類、形態学的特徴および転帰を説明できる。
5 炎症	ア 炎症の概念		C-4-4-①	* ①炎症の定義を説明できる。 【発症機序を含む。】
	イ 炎症の原因		C-4-4-① C-4-4-②	* ①炎症の定義を説明できる。 【発症機序を含む。】 * ②炎症に関与する細胞の種類と機能を説明できる。
	ウ 炎症に関与する細胞		C-4-4-②	* ②炎症に関与する細胞の種類と機能を説明できる。
	エ 炎症の機序・病態		C-4-4-① C-4-4-②	* ①炎症の定義を説明できる。 【発症機序を含む。】 * ②炎症に関与する細胞の種類と機能を説明できる。
	オ 急性炎症、慢性炎症		C-4-4-③	* ③滲出性炎の種類と病理組織学的特徴および経時的变化を説明できる。
	カ 肉芽腫性炎の種類・特徴		C-4-4-④	* ④肉芽腫性炎の種類と病理組織学的な特徴および経時的变化を説明できる。

出題基準			コアカリ	
総論Ⅵ 病因、病態				
大項目	中項目	小項目	項目	
6 感染症、アレルギー、免疫疾患	ア 感染の概念		C-3-1-③	* ③清潔と不潔の区分および滅菌と消毒の意義、原理および代表的な方法を説明できる。
	イ 病原微生物		C-3-1-① C-3-1-②	* ①細菌、真菌、ウイルスおよび寄生虫の形態学的特徴と基本的性状を説明できる。 * ②細菌、真菌、ウイルスおよび寄生虫のヒトに対する感染機構とこれらの微生物がヒトに対して示す病原性を説明できる。
	ウ 宿主側の因子		C-3-2)-① C-3-2)-② C-3-2)-③ C-3-2)-④	* ①自然免疫と獲得免疫について説明できる。 * ②細胞性免疫と体液性免疫について説明できる。 【抗体の種類と特徴を含む。】 * ③免疫担当細胞の種類と機能を説明できる。 * ④自己と非自己の識別機構と免疫寛容を説明できる。
	エ 感染症		C-3-1-④ C-3-1-⑤ C-3-1-⑥	* ④化学療法の目的、原理、作用機序および薬剤耐性機序を説明できる。 * ⑤新興・再興感染症について説明できる。 * ⑥院内感染について、原因、予防法について説明できる。
	オ 免疫不全		C-3-2)-① C-3-2)-② C-3-2)-③ C-3-2)-④	* ①自然免疫と獲得免疫について説明できる。 * ②細胞性免疫と体液性免疫について説明できる。 【抗体の種類と特徴を含む。】 * ③免疫担当細胞の種類と機能を説明できる。 * ④自己と非自己の識別機構と免疫寛容を説明できる。
	カ 自己免疫疾患		C-3-2)-① C-3-2)-② C-3-2)-③ C-3-2)-④	* ①自然免疫と獲得免疫について説明できる。 * ②細胞性免疫と体液性免疫について説明できる。 【抗体の種類と特徴を含む。】 * ③免疫担当細胞の種類と機能を説明できる。 * ④自己と非自己の識別機構と免疫寛容を説明できる。
	キ アレルギー反応(過敏症)		C-3-2)-① C-3-2)-② C-3-2)-③ C-3-2)-④	* ①自然免疫と獲得免疫について説明できる。 * ②細胞性免疫と体液性免疫について説明できる。 【抗体の種類と特徴を含む。】 * ③免疫担当細胞の種類と機能を説明できる。 * ④自己と非自己の識別機構と免疫寛容を説明できる。
7 腫瘍	ア 腫瘍の概念		C-4-5-①	* ①腫瘍の定義を説明できる。
	イ 腫瘍発生の病因		C-4-5-②	* ②腫瘍の病因を説明できる。
	ウ 腫瘍の疫学		C-4-5-① C-4-5-②	* ①腫瘍の定義を説明できる。 * ②腫瘍の病因を説明できる。
	エ 腫瘍の発育様式		C-4-5-⑥	* ⑥局所における腫瘍の増殖、浸潤および転移を説明できる。
	オ 腫瘍の組織学的構造		C-4-5-① C-4-5-②	* ①腫瘍の定義を説明できる。 * ②腫瘍の病因を説明できる。
	カ 構造異型、細胞異型		C-4-5-③ C-4-5-④	* ③異形成を説明できる。 * ④腫瘍の異型性と組織学的分化度を説明できる。
	キ 良性腫瘍、悪性腫瘍		C-4-5-⑤	* ⑤良性腫瘍と悪性腫瘍の異同を説明できる。
	ク 前癌状態、前癌病変		C-4-5-⑤	* ⑤良性腫瘍と悪性腫瘍の異同を説明できる。

出題基準			コアカリ	
総論Ⅵ 病因、病態				
大項目	中項目	小項目	項目	
	ケ 腫瘍と宿主の関係		C-4-5-① C-4-5-②	* ①腫瘍の定義を説明できる。 * ②腫瘍の病因を説明できる。
8 疼痛	ア 侵害受容性疼痛		C-4-6-① C-4-6-② C-4-6-③	* ①疼痛の種類を説明できる。 【関連痛を含む】 * ②疼痛の発生機序を説明できる。 * ③疼痛の制御機構・方法の概念を説明できる。
	イ 神経障害性疼痛		C-4-6-① C-4-6-② C-4-6-③	* ①疼痛の種類を説明できる。 【関連痛を含む】 * ②疼痛の発生機序を説明できる。 * ③疼痛の制御機構・方法の概念を説明できる。
	ウ 心因性疼痛		C-4-6-① C-4-6-② C-4-6-③	* ①疼痛の種類を説明できる。 【関連痛を含む】 * ②疼痛の発生機序を説明できる。 * ③疼痛の制御機構・方法の概念を説明できる。
	エ 口腔・顔面領域の疼痛		C-4-6-①	* ①疼痛の種類を説明できる。 【関連痛を含む】
9 中毒、放射線障害	ア 中毒の発生要因・病態生理		B-2-4)-① C-3-1)-② C-5-2)-⑤ C-5-4)-①	環境による健康への影響を説明できる。 細菌、真菌、ウイルスおよび寄生虫のヒトに対する感染機構とこれらの微生物がヒトに対して示す病原性を説明できる。 薬物の連用の影響(薬物耐性、蓄積および依存性)を説明できる。 薬物の一般的副作用、有害作用と口唇・口腔・顎顔面領域に現れる副作用、有害作用を説明できる。
	イ 放射線の身体的影響		E-1-2-②	* ②放射線の人体(胎児を含む)への影響の特徴(急性影響と晩発影響等)を説明できる。
	ウ 放射線の遺伝的影響		E-1-2-②	* ②放射線の人体(胎児を含む)への影響の特徴(急性影響と晩発影響等)を説明できる。
	エ 放射線の確率的・確定的影響		E-1-2-②	* ②放射線の人体(胎児を含む)への影響の特徴(急性影響と晩発影響等)を説明できる。
10 医原病	ア 検査・診査に伴う医原病		E-4-1-⑨	* ⑨矯正治療によって生じる医原性障害を挙げ、その予防法と処置を説明できる。
	イ 治療に伴う医原病		E-4-1-⑨	* ⑨矯正治療によって生じる医原性障害を挙げ、その予防法と処置を説明できる。
	ア 先天異常・後天異常		E-2-4-(1)-① E-2-4-(1)-② E-2-4-(1)-③	* ①口唇・口腔・頭蓋・顎顔面に症状をきたす先天性異常を説明できる。 * ②口唇・口蓋裂の病態と治療方針を説明できる。 * ③顎変形症を概説できる。
	イ 歯の硬組織・歯髄・根尖歯周疾患・辺縁歯周組織の疾患		E-3-2-① E-3-2-② E-3-2-③ E-3-2-④ E-3-2-⑤	* ①歯の硬組織の疾患の病因と病態を説明できる。 * ②歯の発育障害と加齢変化の病因と病態を説明できる。 * ③歯髄・根尖歯周組織疾患の病因と病態を説明できる。 * ④歯周疾患の病因と病態を説明できる。 * ⑤口腔細菌、歯垢および歯石につ
	ウ 口腔粘膜の疾患		E-2-4-(4)-① E-2-4-(4)-②	* ①口腔粘膜疾患の種類と特徴を説明できる。 * ②水疱、紅斑、びらん、潰瘍、白斑、色素沈着等を主徴とする主な粘膜疾患を概説できる。

出題基準			コアカリ	
総論Ⅵ 病因、病態				
大項目	中項目	小項目	項目	
11 歯・口腔・顎・顔面・頭蓋疾患の病因・病態	エ 唾液腺の疾患		E-2-4-(7)-① E-2-4-(7)-② E-2-4-(7)-③ E-2-4-(7)-④ E-2-4-(7)-⑤	<ul style="list-style-type: none"> * ①唾石症の特徴、症状、診断法および治療法を説明できる。 * ②唾液腺炎の種類と特徴、症状、診断法および治療法を概説できる。 * ③唾液腺腫瘍の種類と特徴、症状、診断法および治療法を説明できる。 * ④流行性耳下腺炎の特徴、症状、診断法および治療法を説明できる。 * ⑤Sjögren 症候群の特徴、症状、診断法および治療法を説明できる。
	オ 顎・顎関節の疾患		E-2-4-(6)-① E-2-4-(6)-②	<ul style="list-style-type: none"> * ①顎関節疾患の種類と特徴を説明できる。 * ②顎関節疾患(外傷、脱臼、炎症、顎関節症、顎関節強直症)の症状、診断法および治療法を概説できる。
	カ 嚢胞		E-2-4-(5)-① E-2-4-(5)-② E-2-4-(5)-③ E-2-4-(5)-④	<ul style="list-style-type: none"> * ①顎骨に発生する歯原性嚢胞の種類と特徴を列挙できる。 * ②顎骨に発生する非歯原性嚢胞の種類と特徴を列挙できる。 * ③軟組織に発生する嚢胞の種類と特徴を列挙できる。 * ④口唇・口腔・顎顔面領域に発生する嚢胞の一般的な症状、診断法および治療法を説明できる。
	キ 腫瘍		C-4-5-① C-4-5-② C-4-5-③ C-4-5-④ C-4-5-⑤ C-4-5-⑥	<ul style="list-style-type: none"> * ①腫瘍の定義を説明できる。 * ②腫瘍の病因を説明できる。 * ③異形成を説明できる。 * ④腫瘍の異型性と組織学的分化度を説明できる。 * ⑤良性腫瘍と悪性腫瘍の異同を説明できる。 * ⑥局所における腫瘍の増殖、浸潤および転移を説明できる。
	ク 損傷		C-4-1-①	<ul style="list-style-type: none"> * ①細胞傷害と組織傷害について説明できる。【変性を含む。】
	ケ 口腔・顎顔面領域に症状を伴う全身疾患		E-2-4-(9)-① E-2-4-(9)-② E-2-4-(9)-③ E-2-4-(9)-④ E-2-4-(9)-⑤ E-2-4-(9)-⑥ E-2-4-(9)-⑦ E-2-4-(9)-⑧ E-2-4-(9)-⑨ E-2-4-(9)-⑩	<ul style="list-style-type: none"> * ①口唇・口腔・顎顔面領域に症状を現す血液疾患(貧血、出血性素因、白血病)とスクリーニング検査法を列挙できる。 * ②口唇・口腔・顎顔面領域に症状を現す感染症の種類とその症状を列挙できる。 * ③口唇・口腔・顎顔面領域に症状を現すアレルギー性疾患、膠原病、免疫不全とそれらの症状を列挙できる。 * ④口唇・口腔・顎顔面領域に症状を現す全身的な腫瘍と腫瘍類似疾患およびその症状を列挙できる。 * ⑤口唇・口腔・顎顔面領域に症状を現す症候群の種類と症状を列挙できる。 * ⑥口唇・口腔・顎顔面領域に症状を現す系統的骨疾患の症状、診断および治療法を列挙できる。 * ⑦口唇・口腔・顎顔面領域に症状を現す薬物の副作用を列挙できる。 * ⑧口唇・口腔・顎顔面領域に症状を現す代謝障害とその症状を列挙できる。 * ⑨口唇・口腔・顎顔面領域に症状を現すビタミン欠乏症とその症状を列挙できる。 * ⑩ヒト免疫不全ウイルス(HIV)感染症の検査法とその口腔症状と検査法を説明できる。
	コ 口腔疾患の治療に伴う変化		E-2-4	口唇・口腔・顎顔面領域の疾患の特徴と病因および診断・治療の基本的概念を理解する。
サ リスクファクター		B-3-2-③	* ③ライフステージにおける予防を説明できる。	
ア 口腔の形態・機能の変化		E-4-3-②	* ②老化に伴う口腔諸組織の構造と機能の変化を説明できる。	

出題基準			コアカリ	
総論Ⅵ 病因、病態				
大項目	中項目	小項目	項目	
12 歯の喪失に伴う口腔・顎・顔面の変化	イ 顎骨の形態変化		E-4-3-②	* ②老化に伴う口腔諸組織の構造と機能の変化を説明できる。
	ウ 顔貌の変化		E-4-3-②	* ②老化に伴う口腔諸組織の構造と機能の変化を説明できる。
	エ 顎関節の変化		E-4-3-②	* ②老化に伴う口腔諸組織の構造と機能の変化を説明できる。
	オ 全身への影響		E-4-3-① E-4-3-② E-4-3-③	* ①老化の身体的、精神的および心理的特徴を説明できる。 * ②老化に伴う口腔諸組織の構造と機能の変化を説明できる。 * ③高齢者に多くみられる疾患を説明できる。
13 個体の死	ア 死の概念・判定	*		
	イ 生物学的な個体の死			

* 108回 A36
(総論 I 保健医療論 5 歯科法医学にも関連)

関連出題:
107回 A89、107回 C129、108回 C75

出題基準			コアカリ	
総論XI 歯科材料と歯科医療機器				
大項目	中項目	小項目	項目	
1 生体材料の科学	ア 有機材料		D-1-① D-2-⑥	* ①高分子材料、セラミック材料、金属材料および複合材料の構造と物性を説明できる。 【構造と物性は基本的かつ一般的なものに限る。また、歯科材料に使用される素材間の物性比較を含む。】 * ⑥レジンの重合、金属の鑄造・熱処理およびセラミックスの加工・焼成の特徴を使用機器と関連づけて説明できる。 【歯科用レジン・金属・セラミックスの種類、用途および特性を含む。】
	イ セラミック材料		D-1-① D-2-⑥	* ①高分子材料、セラミック材料、金属材料および複合材料の構造と物性を説明できる。 【構造と物性は基本的かつ一般的なものに限る。また、歯科材料に使用される素材間の物性比較を含む。】 * ⑥レジンの重合、金属の鑄造・熱処理およびセラミックスの加工・焼成の特徴を使用機器と関連づけて説明できる。 【歯科用レジン・金属・セラミックスの種類、用途および特性を含む。】
	ウ 金属材料		D-1-① D-2-⑥	* ①高分子材料、セラミック材料、金属材料および複合材料の構造と物性を説明できる。 【構造と物性は基本的かつ一般的なものに限る。また、歯科材料に使用される素材間の物性比較を含む。】 * ⑥レジンの重合、金属の鑄造・熱処理およびセラミックスの加工・焼成の特徴を使用機器と関連づけて説明できる。 【歯科用レジン・金属・セラミックスの種類、用途および特性を含む。】
	エ 複合材料		D-1-①	* ①高分子材料、セラミック材料、金属材料および複合材料の構造と物性を説明できる。 【構造と物性は基本的かつ一般的なものに限る。また、歯科材料に使用される素材間の物性比較を含む。】
	オ 物理的性質		D-1-②	* ②生体材料の力学的、物理的、化学的および生物学的所要性質を説明できる。
	カ 機械的性質		D-1-②	* ②生体材料の力学的、物理的、化学的および生物学的所要性質を説明できる。
	キ 化学的性質		D-1-②	* ②生体材料の力学的、物理的、化学的および生物学的所要性質を説明できる。
	ク 生物学的性質と生体安全性		D-1-③	* ③生体材料と歯科材料の安全性の評価を説明できる。
2 診療用器械	ア 歯科用ユニット		D-1-④	* ④歯科用器械・器具の用途と特徴について説明できる。
	イ エアータービン		D-1-④	* ④歯科用器械・器具の用途と特徴について説明できる。
	ウ マイクロモータ		D-1-④	* ④歯科用器械・器具の用途と特徴について説明できる。
	エ レーザー装置		D-1-④	* ④歯科用器械・器具の用途と特徴について説明できる。
3 切削、研削、研磨	ア 切削・研削工具		D-1-④	* ④歯科用器械・器具の用途と特徴について説明できる。
	イ 研磨剤		D-2-①	* ①修復材料と修復法の種類と特徴を説明できる。
	ア 酸化亜鉛ユーージノール		D-2-③	* ③印象材の種類と特性を説明できる。
	イ モデリングコンパウンド		D-2-③	* ③印象材の種類と特性を説明できる。
	ウ 印象用石膏		D-2-③	* ③印象材の種類と特性を説明できる。

出題基準			コアカリ	
総論Ⅺ 歯科材料と歯科医療機器				
大項目	中項目	小項目	項目	
4 印象用材料	エ 印象用ワックス		D-2-③	* ③印象材の種類と特性を説明できる。
	オ アルジネート		D-2-③	* ③印象材の種類と特性を説明できる。
	カ 寒天		D-2-③	* ③印象材の種類と特性を説明できる。
	キ シリコーンゴム		D-2-③	* ③印象材の種類と特性を説明できる。
	ク ポリエーテルゴム		D-2-③	* ③印象材の種類と特性を説明できる。
	ケ ポリサルファイドゴム		D-2-③	* ③印象材の種類と特性を説明できる。
	コ 機能印象材		D-2-③	* ③印象材の種類と特性を説明できる。
	サ 印象用トレー		D-2-③	* ③印象材の種類と特性を説明できる。
5 模型用材料	ア 歯科用石膏		D-2-④	* ④歯科用石膏の種類と特性を説明できる。
	イ レジン系模型		D-2-⑥	* ⑥レジンの重合、金属の鑄造・熱処理およびセラミックスの加工・焼成の特徴を使用機器と関連づけて説明できる。 【歯科用レジン・金属・セラミックスの種類、用途および特性を含む。】
6 歯科用ワックス	ア インレーワックス		D-2-⑤	* ⑤ワックスの種類と特性を説明できる。
	イ パラフィンワックス		D-2-⑤	* ⑤ワックスの種類と特性を説明できる。
	ウ シートワックス、レディキャストワックス、スティッキーワックス、ユーティリティーワックス		D-2-⑤	* ⑤ワックスの種類と特性を説明できる。
7 予防充填・成形修復・歯内療法用材料	ア コンポジットレジン		D-2-⑥	* ⑥レジンの重合、金属の鑄造・熱処理およびセラミックスの加工・焼成の特徴を使用機器と関連づけて説明できる。 【歯科用レジン・金属・セラミックスの種類、用途および特性を含む。】
	イ 歯質接着処理剤、接着性モノマー		D-2-⑦	* ⑦接着材と合着材の種類と成分および特性を説明できる。
	ウ グラスアイオノマーセメント		D-2-①	* ①修復材料と修復法の種類と特徴を説明できる。
	エ 歯科用アマルガム		D-2-①	* ①修復材料と修復法の種類と特徴を説明できる。
	オ 予防充填材		D-2-①	* ①修復材料と修復法の種類と特徴を説明できる。
	カ 仮封材		D-2-①	* ①修復材料と修復法の種類と特徴を説明できる。
	キ 裏層材		D-2-①	* ①修復材料と修復法の種類と特徴を説明できる。
	ク 覆髄材		D-2-①	* ①修復材料と修復法の種類と特徴を説明できる。
ケ 根管充填材		D-2-①	* ①修復材料と修復法の種類と特徴を説明できる。	
	ア レジン		D-2-① D-2-② D-2-⑥	* ①修復材料と修復法の種類と特徴を説明できる。 * ②歯冠修復・義歯の製作に必要な材料の特性を説明できる。 * ⑥レジンの重合、金属の鑄造・熱処理およびセラミックスの加工・焼成の特徴を使用機器と関連づけて説明できる。 【歯科用レジン・金属・セラミックスの種類、用途および特性を含む。】

出題基準			コアカリ	
総論XI 歯科材料と歯科医療機器				
大項目	中項目	小項目	項目	
8 歯冠修復用材料	イ 陶材		D-2-① D-2-②	*①修復材料と修復法の種類と特徴を説明できる。 *②歯冠修復・義歯の製作に必要な材料の特性を説明できる。
	ウ 金属焼付陶材		D-2-① D-2-②	*①修復材料と修復法の種類と特徴を説明できる。 *②歯冠修復・義歯の製作に必要な材料の特性を説明できる。
	エ アルミナ		D-2-① D-2-②	*①修復材料と修復法の種類と特徴を説明できる。 *②歯冠修復・義歯の製作に必要な材料の特性を説明できる。
	オ ジルコニア		D-2-① D-2-②	*①修復材料と修復法の種類と特徴を説明できる。 *②歯冠修復・義歯の製作に必要な材料の特性を説明できる。
	カ ガラスセラミックス		D-2-① D-2-②	*①修復材料と修復法の種類と特徴を説明できる。 *②歯冠修復・義歯の製作に必要な材料の特性を説明できる。
	キ 金合金		D-2-① D-2-②	*①修復材料と修復法の種類と特徴を説明できる。 *②歯冠修復・義歯の製作に必要な材料の特性を説明できる。
	ク 金銀パラジウム合金		D-2-① D-2-②	*①修復材料と修復法の種類と特徴を説明できる。 *②歯冠修復・義歯の製作に必要な材料の特性を説明できる。
	ケ 銀合金		D-2-① D-2-②	*①修復材料と修復法の種類と特徴を説明できる。 *②歯冠修復・義歯の製作に必要な材料の特性を説明できる。
	コ 陶材焼付用合金		D-2-① D-2-②	*①修復材料と修復法の種類と特徴を説明できる。 *②歯冠修復・義歯の製作に必要な材料の特性を説明できる。
	サ チタン、チタン合金		D-2-① D-2-②	*①修復材料と修復法の種類と特徴を説明できる。 *②歯冠修復・義歯の製作に必要な材料の特性を説明できる。
	シ 支台築造材		D-2-① D-2-②	*①修復材料と修復法の種類と特徴を説明できる。 *②歯冠修復・義歯の製作に必要な材料の特性を説明できる。
	ス 暫間補綴・修復用材料		D-2-① D-2-②	*①修復材料と修復法の種類と特徴を説明できる。 *②歯冠修復・義歯の製作に必要な材料の特性を説明できる。
	ア 基礎床材料		D-2-②	*②歯冠修復・義歯の製作に必要な材料の特性を説明できる。
イ 加熱重合型アクリルレジン		D-2-②	*②歯冠修復・義歯の製作に必要な材料の特性を説明できる。	
ウ 常温重合型アクリルレジン		D-2-②	*②歯冠修復・義歯の製作に必要な材料の特性を説明できる。	
エ ポリスルホン、ポリカーボネート		D-2-②	*②歯冠修復・義歯の製作に必要な材料の特性を説明できる。	

出題基準			コアカリ	
総論Ⅺ 歯科材料と歯科医療機器				
大項目	中項目	小項目	項目	
9 義歯用材料	オ 人工歯		D-2-②	* ②歯冠修復・義歯の製作に必要な材料の特性を説明できる。
	カ 義歯床用裏装材		D-2-②	* ②歯冠修復・義歯の製作に必要な材料の特性を説明できる。
	キ 金合金		D-2-②	* ②歯冠修復・義歯の製作に必要な材料の特性を説明できる。
	ク 金銀パラジウム合金		D-2-②	* ②歯冠修復・義歯の製作に必要な材料の特性を説明できる。
	ケ コバルトクロム合金		D-2-②	* ②歯冠修復・義歯の製作に必要な材料の特性を説明できる。
	コ チタン、チタン合金		D-2-②	* ②歯冠修復・義歯の製作に必要な材料の特性を説明できる。
	サ ステンレス鋼		D-2-②	* ②歯冠修復・義歯の製作に必要な材料の特性を説明できる。
	シ 歯科用磁性合金		D-2-②	* ②歯冠修復・義歯の製作に必要な材料の特性を説明できる。
	ス ろう材		D-2-②	* ②歯冠修復・義歯の製作に必要な材料の特性を説明できる。
10 レジンの成形技術・機器	ア 加熱重合		D-2-⑥	* ⑥レジンの重合、金属の鑄造・熱処理およびセラミックスの加工・焼成の特徴を使用機器と関連づけて説明できる。 【歯科用レジン・金属・セラミックスの種類、用途および特性を含む。】
	イ 常温重合(流し込み成形)		D-2-⑥	* ⑥レジンの重合、金属の鑄造・熱処理およびセラミックスの加工・焼成の特徴を使用機器と関連づけて説明できる。 【歯科用レジン・金属・セラミックスの種類、用途および特性を含む。】
	ウ 光重合		D-2-⑥	* ⑥レジンの重合、金属の鑄造・熱処理およびセラミックスの加工・焼成の特徴を使用機器と関連づけて説明できる。 【歯科用レジン・金属・セラミックスの種類、用途および特性を含む。】
	エ 加熱・加圧形成		D-2-⑥	* ⑥レジンの重合、金属の鑄造・熱処理およびセラミックスの加工・焼成の特徴を使用機器と関連づけて説明できる。 【歯科用レジン・金属・セラミックスの種類、用途および特性を含む。】
11 セラミックスの	ア 陶材の築盛・焼成		D-1-① D-2-②	* ①高分子材料、セラミック材料、金属材料および複合材料の構造と物性を説明できる。 【構造と物性は基本的かつ一般的なものに限る。また、歯科材料に使用される素材間の物性比較を含む。】
	イ 陶材と金属の接合		D-1-① D-2-②	* ①高分子材料、セラミック材料、金属材料および複合材料の構造と物性を説明できる。 【構造と物性は基本的かつ一般的なものに限る。また、歯科材料に使用される素材間の物性比較を含む。】 * ②歯冠修復・義歯の製作に必要な材料の特性を説明できる。

出題基準			コアカリ	
総論XI 歯科材料と歯科医療機器				
大項目	中項目	小項目	項目	
セラミックスの成形技術・機器	ウ セラミックスの成形加工		D-1-① D-2-⑥	* ①高分子材料、セラミック材料、金属材料および複合材料の構造と物性を説明できる。 【構造と物性は基本的かつ一般的なものに限る。また、歯科材料に使用される素材間の物性比較を含む。】 * ②歯冠修復・義歯の製作に必要な材料の特性を説明できる。
	エ CAD/CAM		D-2-⑥	* ⑥レジンの重合、金属の鑄造・熱処理およびセラミックスの加工・焼成の特徴を使用機器と関連づけて説明できる。 【歯科用レジン・金属・セラミックスの種類、用途および特性を含む。】
12 金属の成形技術・機器	ア 鑄造工程		D-2-⑥	* ⑥レジンの重合、金属の鑄造・熱処理およびセラミックスの加工・焼成の特徴を使用機器と関連づけて説明できる。 【歯科用レジン・金属・セラミックスの種類、用途および特性を含む。】
	イ 石膏系鑄型材		D-2-⑥	* ⑥レジンの重合、金属の鑄造・熱処理およびセラミックスの加工・焼成の特徴を使用機器と関連づけて説明できる。 【歯科用レジン・金属・セラミックスの種類、用途および特性を含む。】
	ウ リン酸塩系鑄型材		D-2-⑥	* ⑥レジンの重合、金属の鑄造・熱処理およびセラミックスの加工・焼成の特徴を使用機器と関連づけて説明できる。 【歯科用レジン・金属・セラミックスの種類、用途および特性を含む。】
	エ 鑄造精度		D-2-⑥	* ⑥レジンの重合、金属の鑄造・熱処理およびセラミックスの加工・焼成の特徴を使用機器と関連づけて説明できる。 【歯科用レジン・金属・セラミックスの種類、用途および特性を含む。】
	オ 鑄造欠陥		D-2-⑥	* ⑥レジンの重合、金属の鑄造・熱処理およびセラミックスの加工・焼成の特徴を使用機器と関連づけて説明できる。 【歯科用レジン・金属・セラミックスの種類、用途および特性を含む。】
	カ ろう付け		D-2-⑥	* ⑥レジンの重合、金属の鑄造・熱処理およびセラミックスの加工・焼成の特徴を使用機器と関連づけて説明できる。 【歯科用レジン・金属・セラミックスの種類、用途および特性を含む。】
	キ 鑄接、溶接		D-2-⑥	* ⑥レジンの重合、金属の鑄造・熱処理およびセラミックスの加工・焼成の特徴を使用機器と関連づけて説明できる。 【歯科用レジン・金属・セラミックスの種類、用途および特性を含む。】

出題基準			コアカリ	
総論XI 歯科材料と歯科医療機器				
大項目	中項目	小項目	項目	
	ク 性加工と焼きなまし		D-2-⑥	*⑥レジンの重合、金属の鑄造・熱処理およびセラミックスの加工・焼成の特徴を使用機器と関連づけて説明できる。 【歯科用レジン・金属・セラミックスの種類、用途および特性を含む。】
	ケ 軟化熱処理と硬化熱処理		D-2-⑥	*⑥レジンの重合、金属の鑄造・熱処理およびセラミックスの加工・焼成の特徴を使用機器と関連づけて説明できる。 【歯科用レジン・金属・セラミックスの種類、用途および特性を含む。】
13 歯科接着技術・機器	ア エナメル質被着面処理		D-2-⑦	*⑦接着材と合着材の種類と成分および特性を説明できる。
	イ 象牙質被着面処理		D-2-⑦	*⑦接着材と合着材の種類と成分および特性を説明できる。
	ウ セラミックス被着面処理		D-2-⑦	*⑦接着材と合着材の種類と成分および特性を説明できる。
	エ 金属被着面処理		D-2-⑦	*⑦接着材と合着材の種類と成分および特性を説明できる。
14 合着・接着・仮着用材料	ア レジンセメント、接着性モノマー		D-2-⑦	*⑦接着材と合着材の種類と成分および特性を説明できる。
	イ グラスアイオノマーセメント		D-2-⑦	*⑦接着材と合着材の種類と成分および特性を説明できる。
	ウ ポリカルボキシレートセメント		D-2-⑦	*⑦接着材と合着材の種類と成分および特性を説明できる。
	エ リン酸亜鉛セメント		D-2-⑦	*⑦接着材と合着材の種類と成分および特性を説明できる。
	オ 酸化亜鉛ユージノールセメント		D-2-⑦	*⑦接着材と合着材の種類と成分および特性を説明できる。
	カ EBAセメント		D-2-⑦	*⑦接着材と合着材の種類と成分および特性を説明できる。
15 歯科矯正用材料	ア 線材料、ワイヤー		D-2-⑥	*⑥レジンの重合、金属の鑄造・熱処理およびセラミックスの加工・焼成の特徴を使用機器と関連づけて説明できる。 【歯科用レジン・金属・セラミックスの種類、用途および特性を含む。】
	イ バンド、ブラケット		D-2-⑥	*⑥レジンの重合、金属の鑄造・熱処理およびセラミックスの加工・焼成の特徴を使用機器と関連づけて説明できる。 【歯科用レジン・金属・セラミックスの種類、用途および特性を含む。】
	ウ 接着材		D-2-⑦	*⑦接着材と合着材の種類と成分および特性を説明できる。
	エ エラスティック		D-1-①	*①高分子材料、セラミック材料、金属材料および複合材料の構造と物性を説明できる。
	オ 床用レジン		D-2-⑥	*⑥レジンの重合、金属の鑄造・熱処理およびセラミックスの加工・焼成の特徴を使用機器と関連づけて説明できる。 【歯科用レジン・金属・セラミックスの種類、用途および特性を含む。】
	ア インプラント材料		D-1-①	*①高分子材料、セラミック材料、金属材料および複合材料の構造と物性を説明できる。

出題基準			コアカリ	
総論XI 歯科材料と歯科医療機器				
大項目	中項目	小項目	項目	
16 歯周治療・口腔外科・インプラント用材料	イ 骨補填材		D-1-① D-1-② D-1-③	<p>* ①高分子材料、セラミック材料、金属材料および複合材料の構造と物性を説明できる。 【構造と物性は基本的かつ一般的ななものに限る。また、歯科材料に使用される素材間の物性比較を含む。】</p> <p>* ②生体材料の力学的、物理的、化学的および生物学的所要性質を説明できる。</p> <p>* ③生体材料と歯科材料の安全性の評価を説明できる。</p>
	ウ 骨接合・顎骨再建プレート		D-1-① D-1-② D-1-③	<p>* ①高分子材料、セラミック材料、金属材料および複合材料の構造と物性を説明できる。 【構造と物性は基本的かつ一般的ななものに限る。また、歯科材料に使用される素材間の物性比較を含む。】</p> <p>* ②生体材料の力学的、物理的、化学的および生物学的所要性質を説明できる。</p> <p>* ③生体材料と歯科材料の安全性の評価を説明できる。</p>
	エ 組織再生用材料		D-1-① D-1-② D-1-③	<p>* ①高分子材料、セラミック材料、金属材料および複合材料の構造と物性を説明できる。 【構造と物性は基本的かつ一般的ななものに限る。また、歯科材料に使用される素材間の物性比較を含む。】</p> <p>* ②生体材料の力学的、物理的、化学的および生物学的所要性質を説明できる。</p> <p>* ③生体材料と歯科材料の安全性の評価を説明できる。</p>
	オ 縫合糸、包帯		D-1-① D-1-② D-1-③	<p>* ①高分子材料、セラミック材料、金属材料および複合材料の構造と物性を説明できる。 【構造と物性は基本的かつ一般的ななものに限る。また、歯科材料に使用される素材間の物性比較を含む。】</p> <p>* ②生体材料の力学的、物理的、化学的および生物学的所要性質を説明できる。</p> <p>* ③生体材料と歯科材料の安全性の評価を説明できる。</p>

資料4 生涯研修に関するアンケート集計結果

(全大学、設置主体別内訳)

表1 生涯研修に関するアンケート集計結果（全大学、設置主体別内訳）

【属性情報】

（属性1）設置主体

	全大学	国公立	私立
国立	11	11	0
公立	1	1	0
私立	17	0	17

（属性2）設置形態(1)

	全大学	国公立	私立
歯科のみの単科	9	1	8
複数学部あり	20	11	9

（属性3）設置形態(2)

	全大学	国公立	私立
歯科医師養成課程のみ	12	4	8
その他の養成課程有り	18	8	10

【アンケート本文】

問1 歯科医師の生涯研修に関して、貴学が実施主体となって主催されている研修コースや講習会等（以下、講習会等という）の実績がありますか

	全大学	国公立	私立
定期的を実施している	23	11	12
現在は実施していないが過去に実施した実績がある	1	1	0
現在は実施していないが今後実施する予定である	2	0	2
今後も実施する予定はない	3	0	3

問2 貴学で定期的を実施している講習会等はどのような内容ですか（複数回答 可）

	全大学	国公立	私立
保存修復系コース	13	4	9
歯内治療系コース	7	2	5
歯周治療系コース	14	4	10
クラウン・ブリッジ系コース	10	4	6
義歯系コース	10	3	7
インプラント系コース	17	6	11
小児歯科系コース	7	2	5
総合診療系コース	5	1	4
口腔外科系コース	12	3	9
全身管理系コース	11	5	6
高齢者系コース	10	3	7
その他	11	6	5

問3 講習会等はその程度の頻度で実施していますか

	全大学	国公立	私立
年1回程度	3	3	0
年2～3回程度	3	1	2
年4～5回程度	3	2	1
年6回程度(隔月程度)	2	0	2
年7～11回程度	3	0	3
年12回程度(毎月開催)	5	3	2
その他	6	2	4

問4 講習会等の出席者は、おおむね何人程度ですか

	全大学	国公立	私立
10名程度	4	0	4
20～30名程度	6	3	3
40～50名程度	10	3	4
50～100名程度	6	4	2
100名以上	3	1	2

問5 講習会等の出席者のうち、母校出身者の割合はどの程度ですか

	全大学	国公立	私立
10%以下	2	1	1
10～20%	3	1	2
30～40%	4	2	2
50～60%	5	3	2
70～80%	6	3	3
90%以上	3	1	2

問6 講習会等の出席者のうち、同様の講習会等に複数回受講されている方の割合はどの程度ですか

	全大学	国公立	私立
10%以下	6	2	4
10～20%	3	0	3
30～40%	4	2	2
50～60%	2	1	1
70～80%	5	3	2
90%以上	2	1	1

問7 講習会等の出席者のうち、次回受講する内容として、希望の多い講習会等はどのような内容ですか(複数回答 可)

	全大学	国公立	私立
保存修復系コース	2	2	0
歯内治療系コース	3	2	1
歯周治療系コース	9	4	5
クラウン・ブリッジ系コース	6	4	2
義歯系コース	7	3	4
インプラント系コース	14	8	6
小児歯科系コース	1	0	1
総合診療系コース	1	0	1
口腔外科系コース	6	3	3
全身管理系コース	9	5	4
高齢者系コース	6	4	2
その他	9	3	6

問8 今後の講習会等の実施頻度はどのようにする予定ですか

	全大学	国公立	私立
実施回数を増やす	0	0	0
現在の頻度を維持する	21	10	11
実施回数を減らす	0	0	0
その他	1	0	1

問9 貴学で過去に実施実績のある講習会等はどのような内容ですか(複数回答可)

	全大学	国公立	私立
保存修復系コース	0	0	0
歯内治療系コース	1	0	1
歯周治療系コース	1	1	0
クラウン・ブリッジ系コース	1	0	1
義歯系コース	1	1	0
インプラント系コース	2	1	1
小児歯科系コース	1	1	0
総合診療系コース	0	0	0
口腔外科系コース	1	1	0
全身管理系コース	1	1	0
高齢者系コース	1	1	0
その他	1	1	0

問10 過去に実施実績のある講習会等はその程度の頻度で実施していましたか

	全大学	国公立	私立
年1回程度	0	0	0
年2～3回程度	1	0	1
年4～5回程度	0	0	0
年6回程度(隔月程度)	0	0	0
年7～11回程度	0	0	0
年12回程度(毎月開催)	1	1	0
その他	1	1	0

問11 過去に実施実績のある講習会等の出席者は、おおむね何人程度でしたか

	全大学	国公立	私立
10名程度	0	0	0
20～30名程度	2	1	1
40～50名程度	1	1	0
50～100名程度	0	0	0
100名以上	0	0	0

問12 過去に実施実績のある講習会等の出席者のうち、母校出身者の割合はどの程度でしたか

	全大学	国公立	私立
10%以下	0	0	0
10～20%	0	0	0
30～40%	2	2	0
50～60%	0	0	0
70～80%	1	0	1
90%以上	0	0	0

問13 過去に実施実績のある講習会等の出席者のうち、同様の講習会等に複数回受講されている方の割合はどの程度でしたか

	全大学	国公立	私立
10%以下	0	0	0
10～20%	0	0	0
30～40%	1	1	0
50～60%	1	0	1
70～80%	0	0	0
90%以上	0	0	0

問14 直近の開催から講習会等はどのくらいの期間中断していますか

	全大学	国公立	私立
1年以内	0	0	0
1～2年程度	0	0	0
3～4年程度	0	0	0
5年以上	1	1	0
その他	1	0	1

問16 実施予定の講習会等はどのような内容ですか(複数回答 可)

	全大学	国公立	私立
保存修復系コース	1	0	1
歯内治療系コース	1	0	1
歯周治療系コース	2	0	2
クラウン・ブリッジ系コース	1	0	1
義歯系コース	2	1	1
インプラント系コース	3	1	2
小児歯科系コース	1	0	1
総合診療系コース	0	0	0
口腔外科系コース	2	1	1
全身管理系コース	2	1	1
高齢者系コース	2	1	1
その他	0	0	0

問17 講習会等はどの程度の頻度で実施する予定ですか

	全大学	国公立	私立
年1回程度	0	0	0
年2～3回程度	0	0	0
年4～5回程度	1	0	1
年6回程度(隔月程度)	0	0	0
年7～11回程度	1	0	1
年12回程度(毎月開催)	1	1	0
その他	0	0	0

問18 講習会等の出席者は、おおむね何人程度を見込んでいますか

	全大学	国公立	私立
10名程度	0	0	0
20～30名程度	1	0	1
40～50名程度	1	1	0
50～100名程度	1	0	1
100名以上	0	0	0

問19 講習会等の出席者のうち、母校出身者の割合をどの程度と見込んでいますか

	全大学	国公立	私立
10%以下	0	0	0
10～20%	0	0	0
30～40%	1	1	0
50～60%	1	0	1
70～80%	1	0	1
90%以上	0	0	0

問20 講習会等の出席者のうち、同様の講習会等に複数回受講されている方の割合をどの程度と見込んでいますか

	全大学	国公立	私立
10%以下	0	0	0
10～20%	0	0	0
30～40%	1	0	1
50～60%	2	1	1
70～80%	0	0	0
90%以上	0	0	0

問23 貴学では、歯科医師の生涯研修を担当する部署や組織(以下、部署等という)を設置していますか

	全大学	国公立	私立
すでに専任の部署等を設置している	8	2	6
現在は設置していないが過去に設置した実績がある	0	0	0
現在は設置していないが今後設置する予定である	3	0	3
専任の部署等を設置する予定はない	18	10	8

問24 設置されている部署等はどのような形態ですか

	全大学	国公立	私立
専従の常勤教職員(医員、助手等を含む)を配置した部署	4	1	3
専従の常勤事務職員(嘱託等を含む)を配置した部署	4	1	3
専従の常勤教職員は配置していないが、分野(講座)等との兼任の常勤教職員(医員、助手等含む)を配置した部署	2	0	2
専従の常勤事務職員は配置していないが、事務部門等との兼任の常勤事務職員(嘱託等を含む)を配置した部署	1	0	1
研修コースや講習会等の準備等がある期間に限定して常勤教職員(医員、助手等を含む)を配置した部署	0	0	0
研修コースや講習会等の準備等がある期間に限定して常勤事務職員(嘱託等を含む)を配置した部署	0	0	0
その他	0	0	0

問25-① 配置されている部署等のスタッフの数は何名ですか
教職員(医員、助手等を含む)

	全大学	国公立	私立
52名	1	0	1
38名	1	0	1
15名	1	0	1
4名	1	1	0
2名	1	0	1
0名	3	1	2

問25-② 配置されている部署等のスタッフの数は何名ですか
事務職員(嘱託等を含む)

	全大学	国公立	私立
6名	1	0	1
4名	1	1	0
3名	2	0	2
2名	2	1	1
1名	2	0	2

問25-③ 配置されている部署等のスタッフの数は何名ですか
その他

	全大学	国公立	私立
5名	1	0	1
0名	6	2	4

問26 設置されている部署等のスタッフの経験年数(社会人となってからの期間)はどの程度ですか

	全大学	国公立	私立
1～5年	1	0	1
6～10年	3	1	2
11～15年	2	0	2
16～20年	4	1	3
21～25年	1	0	1
26～30年	1	0	1
31年以上	0	0	0

問28 過去に設置実績のある部署等はどのような形態でしたか

	全大学	国公立	私立
専従の常勤教職員(医員、助手等を含む)を配置した部署	0	0	0
専従の常勤事務職員(嘱託等を含む)を配置した部署	0	0	0
専従の常勤教職員は配置していないが、分野(講座)等との兼任の常勤教職員(医員、助手等含む)を配置した部署	0	0	0
専従の常勤事務職員は配置していないが、事務部門等との兼任の常勤事務職員(嘱託等を含む)を配置した部署	0	0	0
研修コースや講習会等の準備等がある期間に限定して常勤教職員(医員、助手等を含む)を配置した部署	0	0	0
研修コースや講習会等の準備等がある期間に限定して常勤事務職員(嘱託等を含む)を配置した部署	0	0	0
その他	0	0	0

問29-① 過去に設置実績のある部署等のスタッフの数は何名でしたか
教職員(医員、助手等を含む)

	全大学	国公立	私立
該当なし	0	0	0

問29-② 過去に設置実績のある部署等のスタッフの数は何名でしたか
事務職員(嘱託等を含む)

	全大学	国公立	私立
該当なし	0	0	0

問29-③ 過去に設置実績のある部署等のスタッフの数は何名でしたか
その他

	全大学	国公立	私立
該当なし	0	0	0